

中富記念くすり博物館だより

2025年12月10日発行 No. 347

イベント情報



申込不要



くすりのパッケージに描かれる
人気のモチーフをアイロンビーズで作ろう

2025年度手作りおとそ教室

12月

毎年恒例、薬研を使っておとそ作り。
開館当初より開催して記念すべき30回目。
今年のおとそは一味違うかも!?



開催日：12月3,4,6,7,10,11,13,14日

※空き情報はHPをご確認ください



1/25 (日)

くすりのパッケージに描かれたモチーフを
アイロンビーズで作ります。
参加者にはオリジナルキーホルダー (非売品)
をプレゼント!

参加費500円 所要時間約20分

10:00~16:00 (11:30~13:00は受付停止)

小学生以上対象 ※材料が無くなり次第終了

薬木薬草園 フォトコンテスト2025-秋冬-

薬木薬草園で植物を撮影して応募しよう!
作品はプロカメラマンが審査を行い、
入賞者には賞品を進呈します。

1/12 (月・祝)
まで



←応募フォームはこちら

薬木薬草園
フォトコンテスト
2025-秋冬-

イベント詳細はこちら↓



公式HP



Instagram



facebook



LINE@



くすり博物館オリジナル ポチ袋 (税込：200円)

今年も残りわずか。お正月の準備といえば、おとそやおせちのほかに「お年玉」
がありますね。ポチ袋は毎年用意するけど絵柄や形、特殊な仕掛けなどが豊富
で悩む人も多いはず。そこでお勧めしたいのがくすり博物館のポチ袋です!
デザインは昔のくすり袋をポップなカラーに仕上げたもの。お金以外にも
ちょっとしたお菓子をプレゼントするときなどにおすすめです。
くすり柄のポチ袋にお金と、一年健康の願いを込めて渡したら、
なんとなく縁起がよさそうな気がしませんか?
例年12月になると売れ行きが良くなるため気になる方はお早めに。



薬草美術館 絵画の中の植物をご紹介します

19世紀末、アール・ヌーヴォーの旗手として活躍したアルフォンス・ミュシャの代表作の
ひとつ《椿姫》(1896年)。アレクサンドル・デュマ(子)原作の悲恋小説を舞台化した宣伝
ポスターとして制作され、ヒロインの儂くも気高い美しさを植物モチーフとともに描き上げ
ました。ポスターの女性はヒロインを演じた大女優サラ・ベルナル。白い衣装と白い椿は
主人公の「純愛」をあらわし、彼女の依頼で舞台衣装もミュシャがデザインしました。
ちなみに同舞台のアメリカ公演では同じ構図で赤い椿に変更されています。
ツバキは縁起の良い花とされる一方、花ごと落ちる様子が「首が落ちる姿」と重ねられ死を
連想させる花でもありました。
しかし、ここではその二面性がヒロインの運命と重なり作品に深みを醸し出しています。
華やかではあるけれど、どこか哀しみを感じる一作です。



アルフォンス・ミュシャ《椿姫》、アルベルティーナ美術館(オーストリア)1896年